

JIS B8224 改正意見の公募開始について

当協会が原案作成委員会及び分科会を設置して、改正作業を行いました JIS B8224 について、意見公募が開始となりましたので、ご報告致します。

1. 規格番号： JIS B8224
2. 規格名称： ボイラの給水及びボイラ水－試験方法
3. 英文名称： Boiler feed water and boiler water – Testing methods
4. 改正概要： この規格は、2005年の改正以来10年が経過していることから、この間の試験方法の運用実績及び技術の進展に対応させ、JIS B8223（ボイラの給水及びボイラ水の水質）をはじめとする関連規格と整合を取り、更に、有害物質の使用量を極力低減するために、内容の見直しを行いました。
主な改正点は、次の通りです。
 - (1) JIS B8223の2015年改正を反映し、対象項目を絞り込み、JIS B8223で規定する項目の試験方法を規定しました。また、ボイラ等プラント運転管理上必要と考えられる項目の試験方法については、附属書に参考として記述しました。
(附属書A 試料及び試料採取、B.1 濁度、B.2 アルカリ消費量、他)
 - (2) JIS K 0102（工場排水試験方法）の2013年改正を反映し、JIS K 0102で追加された流れ分析については、本規格で適応可能な項目を検討し、採用しました。
(15.7 流れ分析法、17.5 流れ分析法、18.2.2 流れ分析法、18.3.3 流れ分析法、19.2.4 流れ分析法、20.4 流れ分析法、附属書B.10.6 流れ分析法)
 - (3) JIS K 0101（工業用水試験方法）に規定の無い項目及び定量範囲が異なり適用できない項目（微量の溶存酸素、ヒドラジニウムイオン、銅及び鉄の試験等）について、運用実績及び技術の進展に対応させて、試験方法を規定しました。
(14.4 光学式センサ法、20.4 流れ分析法、24.3 クプリゾン吸光光度法、24.4 ジンコン吸光光度法、26.3.3 準備操作)
 - (4) 試薬類で有害物質を使用する試験方法を見直して、有害物質の使用を避ける又は使用量を低減する試験方法を検討し、採用しました。
(15.3 塩化銀比濁法、15.7 流れ分析法、17.2 硫酸バリウム比濁法、17.5 流れ分析法)

- (5) 旧規格の附属書に一部記載のあった“自動計測器”については、定義が明確でなかったことから、ボイラ等プラント運転管理のために、現場で運用実績のある装置を調査し、“プロセス用分析装置”と改めて用語を定義して、規格本体の各項目に規定しました。
(3 用語及び定義, 19.2.5 シリカプロセス用分析装置による測定方法, 20.5 ヒドラジンプロセス用分析装置による測定方法, 他)

5. 作成団体： (一社)火力原子力発電技術協会
(一財)日本規格協会

6. 公募期間： 2015年11月24日(火)～2016年1月22日(金)

7. 関連HP： 日本工業標準調査会 <http://www.jisc.go.jp/>
※日本工業標準調査会 HP の意見受付公告掲載サイトは、仕様上、保護が掛かっており、URL が変動するため、掲載サイトへ直にリンクでジャンプすることができませんので、トップページから以下操作して下さい。
(標準化メニューより、意見受付公告(JIS)をクリック。その後更に、一覧から規格番号 JIS B8224 を探し、クリック。)

以 上